

【記念式典（公式セレモニー）】 星野稔市長あいさつ

本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございます。

フュッセン市 第一市長アイヒシュテッター様をはじめ、ご臨席の皆様、フュッセン市の皆様、本日ここに、フュッセン市と沼田市の「姉妹都市提携30周年」を記念し、桑原市議会議長、そして沼田市国際交流協会設楽会長をはじめとする市民訪問団とともに、本式典に参加できたことを、大変嬉しく、そして光栄に思っております。

アイヒシュテッター市長をはじめ、関係皆様におかれましては、私たちのために、このように素晴らしい式典を計画していただき、その温かいご配慮に、心より感謝を申し上げます。ドイツに到着しましてから、ノイシュヴァンシュタイン城やフォルゲン湖など、美しくすばらしい名所の数々を視察いたしました。大変心温まるおもてなしをいただき、一同、心から感激しております。由緒あるドイツの歴史や文化に触れ、大いに学び、見聞を広め、今回の訪問を実りあるものにしたいと思っております。

さて、フュッセン市と沼田市が、友好関係を深めようと、30年前に当時のヴェンゲルト市長と西田市長が、友好姉妹都市の協定書を交わしました。以来、子どもたちによる絵画交流や、両市長、市議会議員による相互訪問、民間による交流などが行われてまいりました。沼田市からは、これまで市民文化団体や未来を担う子どもたちがフュッセンを訪れ、沼須人形芝居あけぼの座による人形芝居や、祇園囃子保存会によるお囃子の演奏など、日本の伝統芸能を披露させていただきました。フュッセン市からは、ガングル市長と観光局の方が、沼田市最大のお祭りの「沼田まつり」にご参加くださいました。また、皇太子殿下をお迎えし開催された全国育樹祭には、ヤコブ市長が出席してくださいました。

最近では、昨年、アイヒシュテッター市長と市民団の皆様が沼田市を訪れ、日本の文化や風習に触れていただきながら、大変素晴らしい交流ができたものと思っております。こうした交流の全てが、フュッセン市と沼田市が、誠実で信頼し合える、真の友人だからこそ叶えられてきたものと確信しております。歴代の功労者の方々に心より敬意を表しますとともに、これからも、この友情と信頼を大切にし、後生へと繋いでいきたいと考えております。

さて、ここで沼田市のことを少し紹介させていただきます。沼田市は、人口4万3000人、面積は、443平方キロメートルで、うち約8割を森林が占める緑豊かな森林文化都市であります。季節毎においしい果物や野菜が採れる大変すばらしいところです。この機会に、皆様に沼田のことを、より知っていただくために、今日は沼田の紹介動画を持って参りました。この後の交流会で、ご覧いただければ幸いに思います。

結びとなりますが、この30周年という記念すべき節目に、私たちは、これからも末永く、心を一つにして友好関係を一層深め、両市の更なる発展に努めながら、希望あふれる未来を築いてまいりたいと考えております。

今回の訪問にあたり、皆様からの歓迎と、温かいお心づかいに、心から感謝を申し上げますとともに、フュッセン市の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈りし、沼田市を代表しての挨拶といたします。本日は、誠にありがとうございます。